

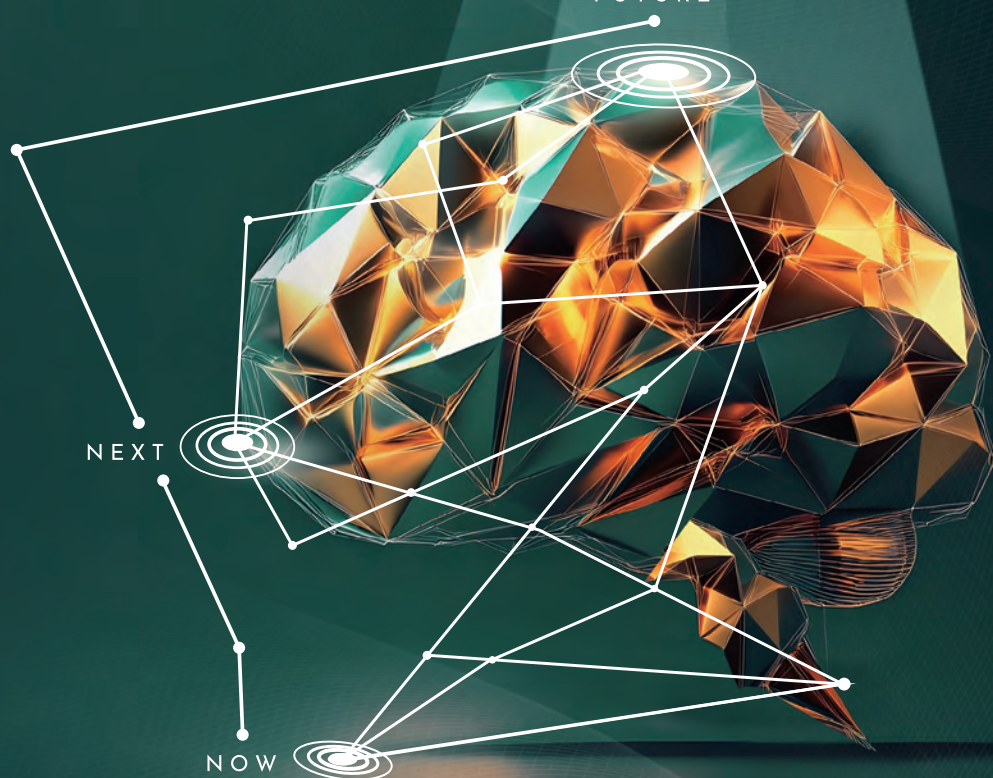
GREEN Project

2026年10月23日(金) 15:00~18:50

G会場 (ニューオータニイン札幌 2F 鶴の間(東))

VISION

OF NEUROSURGERY
FUTURE



一般社団法人 日本脳神経外科学会 第85回学術総会

会長：三國 信啓 (札幌医科大学 医学部脳神経外科学講座 教授)

GREEN Project 開催にあたり

このたびは、「日本脳神経外科学会 第85回学術総会 GREEN Project @札幌」にご参加いただき、心より歓迎申し上げます。

第77回学術総会より始まった GREEN Project も、今回で第9回を迎えることとなりました。本企画は、脳神経外科の未来を担う初期研修医や医学生の皆さんに、学術総会という大きな舞台へ積極的にご参画いただき、その実体験を次なる飛躍の糧としていただくことを目的としています。

「脳神経外科のビジョン」をテーマに掲げる今回の学術総会では、「For the patient」という不変のゴールに向け、基礎研究から臨床の最前線に至るまで、多様な知見と情熱が集う場を目指しております。AIの発展が進む現代だからこそ、人間の深い思索と議論が交わされる場となるよう準備を進めてまいりました。そのメインプログラムの一つが、若手のビジョンを共有する本特別企画「GREEN Project」です。

脳神経外科医とは、「外科医の目と技を持った神経系総合医」にほかなりません。対象疾患は、脳血管障害や脳神経外傷などの救急疾患から、脳腫瘍、機能的疾患（てんかん、パーキンソン病、三叉神経痛、顔面けいれん等）、小児疾患、脊髄・脊椎・末梢神経疾患まで多岐にわたります。予防・診断はもちろんのこと、手術手技のみならず急性期から慢性期にわたる保存的治療までを一身に担う専門職です。

今回の特別企画は、札幌医科大学医学部脳神経外科学講座の菅野彩先生（2008年卒）と山岡歩先生（2012年卒）が中心となり、魅力的なプログラムを構成していただきました。講師の先生方には、多様なアプローチやキャリアパスを通じてゴールへと歩むお姿を、ご自身の専門領域にとどまらず、他領域を志す若手医師や学生にとっても刺激となるようご講演いただきます。

大学や学閥の垣根を超えた活発な質疑応答と討論を通じて、次世代を担う皆様が描く「将来の目標」や「ありたい姿」を語り合い、それを実現するための確固たるロードマップを描く機会となることを心より願っております。

一般社団法人 日本脳神経外科学会 第85回学術総会

会長 三國 信啓

札幌医科大学 医学部脳神経外科学講座 教授

タイムテーブル

10月23日（金）

15:00 ～ 15:03	開会挨拶	三國 信啓
第 1 部 Career 紹介（後期研修（大学・民間）、研究、留学）		
15:03 ～ 15:40	司 会：鎌田 智絵（新さっぽろ脳神経外科病院） 佐藤 亮太（市立釧路総合病院） 発表者：西野 豪（市立釧路総合病院） 神 亜沙美（中村記念病院） 前田 拓真（埼玉医科大学） 山本 一徹（湘南藤沢徳洲会病院）	
第 2 部 Hands on		
15:40 ～ 16:40	各種ハンズオン（4 部門）	
第 3 部 Subspecialty 紹介（血管障害、腫瘍、脊髄、小児、機能）		
16:40 ～ 17:30	司 会：鎌田 智絵（新さっぽろ脳神経外科病院） 佐藤 亮太（市立釧路総合病院） 発表者：鈴木 脩斗（横浜新都市脳神経外科病院） 伊師 雪友（北海道大学） 上森 元気（旭川医科大学） 在原 正泰（北海道立子ども総合医療・療育センター） 高砂 恵（独立行政法人 医薬品医療機器総合機構）	
第 4 部 Discussion		
17:30 ～ 18:50	モデレーター： 鎌田 智絵（新さっぽろ脳神経外科病院） 佐藤 亮太（市立釧路総合病院） 西野 豪（市立釧路総合病院） 神 亜沙美（中村記念病院） 前田 拓真（埼玉医科大学） 山本 一徹（湘南藤沢徳洲会病院） 鈴木 脩斗（横浜新都市脳神経外科病院） 伊師 雪友（北海道大学） 上森 元気（旭川医科大学） 在原 正泰（北海道立子ども総合医療・療育センター） 高砂 恵（独立行政法人 医薬品医療機器総合機構） 小杉 健三（慶應義塾大学） 梅原 徹（大阪大学） 牛田 裕子（大阪大学） 熊井 萌（東北大学） 大久保升誉（新潟大学） 松原 博文（岐阜大学） 大谷 理浩（岡山大学） 吉武 秀展（久留米大学） 小松 克也（札幌医科大学） 山岡 歩（札幌医科大学） 菅野 彩（札幌医科大学）	

本学会の見どころ

今回の学術総会のテーマは、「脳神経外科の Vision」です。

脳神経外科が目指すのは、患者さんにより良い医療を届けることです。しかし、そのための道筋は一つではありません。基礎研究、手術、救急医療、専門性の追求、教育、地域医療、そして新規技術…。それぞれ異なる道を歩みながら、より良い脳神経外科医療という同じ頂を目指しています。

脳神経外科の「今 (NOW)」を知り、その先にある「NEXT」「FUTURE」を考え、さまざまな議論を通じて未来への具体的な Vision を描いていく。3 日間のあらゆる企画にこのメッセージが込められています。

第一線の脳神経外科医が何を考え、どのような未来を目指しているのか。

初めて学会に参加する学生・研修医の皆さんにとっても、「脳神経外科の Vision」に触れることで、自分自身の「将来の目標」や「ありたい姿」を考えるきっかけになることを願っています。

10月21日(水) 学会1日目

いよいよ札幌で第85回日本脳神経外科学会学術総会が幕を開けます。

山頂を目指すためには、まず現在地を知ることから。初日は、脳神経外科が今どこに立ち、社会から何を求められ、これからどの方向へ進もうとしているのかを俯瞰できる一日です。

特別企画では、「言語機能研究の最前線と臨床応用」を皮切りに、「社会の中での脳神経外科の Vision」「未破裂脳動脈瘤治療の Vision」「膠芽腫治療の将来像 克服への Vision」と、研究、社会、臨床のさまざまな視点から脳神経外科の現在地と未来が語られます。

シンポジウムも充実しています。「新規医療技術の Vision—脳神経外科領域におけるテクノロジーの現在地と未来—」「手術は準備ですべてが決まる—術前シミュレーションの現在地と Vision—」では、新たな技術がこれからの診断や治療をどのように変えていくのかが議論されます。

また、「脳腫瘍におけるがんゲノム医療の現状と未来」「脳血管障害研究の新たな Vision」「脊髄腫瘍手術の Vision」など、各専門分野の最前線にも触れることができます。

さらに注目したいのが、「脳神経外科教育の Vision—働き方改革時代における専門医の質は担保できるのか?—」「持続可能な脳神経外科へ～人材確保・育成・教育の Vision」です。脳神経外科医になるために何を学ぶのか、そしてこれからの時代にどのように次世代を育てていくのか。学生・研修医の皆さん自身にも直結するテーマです。

臨床、研究、技術、教育、社会。脳神経外科という領域の広がりを知り、自分がどの道に惹かれるのかを考えながら、3 日間の第一歩を踏み出してみてください。

本学会の見どころ

10月22日(木) 学会2日目

2日目は、脳神経外科専門領域の「奥深さ」と「多様なルート」を感じられる企画が並びます。特別企画「記憶機能」では、記憶という脳神経外科ならではの高次脳機能を探求するテーマに迫ります。また、「解剖に基づいた手術とその Vision」「脳血行再建術の Vision：次世代への継承」では、安全で確実な手術を支える知識と技術、そしてそれを次世代へどう伝えていくかが議論されます。さらに、「島葉てんかん」では、一筋縄ではいかない病態と診断、治療の選択肢について、最前線の知見に触れることができます。

シンポジウムでは、「研究室から手術室へ：脳神経外科医が切り拓く基礎研究」「剥離技術とは？その境界をどう見極めるか」「グリオーマの摘出戦略」「顕微鏡、外視鏡、内視鏡—同じ手術、異なるアプローチ—」など、研究者としての視点から、外科医としての目と技まで、多彩なテーマが並びます。また、「左利きの術者教育—多様性を力に変える—」のように、教育やキャリア形成に際して個々の違いをどう生かしていくかを考える企画もあります。

そして、学生・研修医の皆さんにぜひ注目してほしいのが、三國信啓会長による会長講演「脳神経外科医にとっての学会発表と英文論文執筆の意義」です。学会発表や論文執筆は、医師になると耳にする機会の多い言葉ですが、「なぜ研究成果を発表するのか」「なぜ英文論文として世界へ発信するのか」を改めて問い直す機会は意外と多くありません。臨床で得た疑問を研究につなげ、得られた知見を共有し、次の医療へ還元していく—その意義を、皆さん自身の将来と重ねながら感じ取ってみてください。

引き続き聴講してほしいのが、2026年ラスカー賞を受賞された柳沢正史先生による特別講演です。「なぜ人は眠るのか?」「眠気はどこから生まれるのか?」——誰もが経験する身近な現象でありながら、睡眠には今なお多くの謎が残されています。睡眠・覚醒を制御する神経ペプチド「オレキシン」の発見をはじめ、世界の睡眠研究を牽引してきた柳沢先生から、脳科学の最前線を直接聞くことのできる貴重な機会です。睡眠は、神経機能や認知機能、患者さんの生活の質だけでなく、私たち医療者自身の働き方にも深く関わります。日々当たり前に行っている「眠る」という行為を入り口に、脳の不思議と医学研究の面白さを体感できることでしょう。

一口に「脳神経外科」といっても、その道は一つではありません。手術を究める、研究に挑む、専門領域を追究する—さまざまな先生方の歩みから、自分が将来進んでみたい道を探してみてください。

本学会の見どころ

10月23日（金） 学会3日目

最終日は、これまで見てきた「NOW」と多様な「NEXT」「FUTURE」を、より具体的な未来像へとつなげていく企画が目白押しです。

特別企画「AIによる脳外科治療の Vision」とシンポジウム「脳神経外科における生成 AI・データサイエンスの Vision—臨床・研究・教育はどう変わるか—」では、急速に発展する AI が脳神経外科診療をどのように変えていくのかを展望します。AI 時代に脳神経外科医がどのように学び、研究し、診療していくのかを考える機会となるでしょう。一方、「シニア世代の Vision」では、長く続く脳神経外科医のキャリアを見渡し、「どんな脳神経外科医になりたいか」を考えるヒントが得られるかもしれません。

臨床分野では、「頭部外傷のトータルマネージメント—予防医学から慢性期管理まで—」「高難度未破裂脳動脈瘤に対する直達手術の Vision」「良性脳腫瘍に対する集学的治療」など、疾患の急性期治療だけでなく、その先の人生や長期予後までを見据えた議論が行われます。また、「再生医療の Vision」では、これからの脳神経外科治療を大きく変える可能性を秘めた新たな治療にも触れることができます。

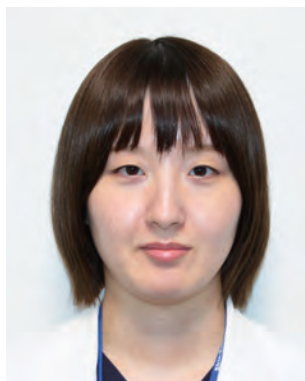
午後には、2025 年ノーベル化学賞を受賞された北川進先生による文化講演があります。多孔性配位高分子／金属有機構造体（PCP/MOF）研究を世界的に牽引されてきた先生です。分子レベルの空間を設計し、物質を自在に取り込む新しい材料の可能性を切り拓いてこられました。まだ誰も答えを知らない問いを、どう見つけるのか。新しい発想は、どこから生まれるのか。一つの研究が、どのように世界を変えていくのか。専門領域の垣根を越えて、科学することそのものの面白さや、研究者の発想に触れられる機会です。将来臨床を究めたい人にも、研究に興味のある人にも、きっと新しい視点を与えてくれるはずです。

そして最後に、学術総会メインプログラムの一環、特別企画「若手の Vision」として、GREEN Project を開催します。第一部 Career 紹介では、大学・民間病院での後期研修、研究、留学など、それぞれの年次で多様なキャリアを歩む先生方からご講演いただきます。史上初の試みとなる第二部 Hands-on では、実際の器具に触れ、手を動かすことで脳神経外科の治療手技を体験します。第三部 Subspecialty 紹介では、各専門領域でご活躍中の先生方にその魅力と専門医取得後にある道をご紹介いただき、第四部 Discussion では、全国から集まった多様な世代・背景・専門領域の異なる先生方と直接語り合うことができます。

「脳神経外科に興味はあるけれど、まだ迷っている」「研修先はどう選べばいい？」「研究や留学って自分にもできる？」「仕事と人生、どう両立していく？」—皆さんの抱く疑問に、唯一の正解はありません。

山頂へ向かうルートが一つではないように、脳神経外科医としての歩み方も一人ひとり異なります。3 日間で出会ったさまざまな「脳神経外科の Vision」、そして GREEN Project への参加が皆さん自身の未来へつながる「道標」となりますように。

司会 プロフィール



鎌田 智絵

新さっぽろ脳神経外科病院

2017年 市立函館病院 初期臨床研修
2018年 札幌医科大学附属病院 初期臨床研修
2019年 札幌医科大学 脳神経外科学講座
2020年 王子総合病院 脳神経外科、市立函館病院 脳神経外科
2021年 市立釧路総合病院 脳神経外科
2022年 釧路孝仁会記念病院 脳神経外科、札幌医科大学 脳神経外科学講座
2023年 脳神経外科専門医取得
2024年 脳神経血管内治療専門医取得、脳卒中専門医取得、学位取得
2025年 新さっぽろ脳神経外科病院

脳は、知れば知るほど不思議で面白く、まだ多くの謎を秘めた臓器です。脳神経外科には、開頭手術や血管内治療を通じて、その脳と向き合い、患者さんの命や機能を守るという奥深い魅力があります。今回の講演が、皆さんに脳神経外科を身近に感じてもらい、将来の選択肢の一つにさせていただきかけになれば嬉しいです。ぜひ気軽に声をかけてください！



佐藤 亮太

市立釧路総合病院 医長

2017年3月 札幌医科大学医学部医学科 卒業
2017年4月 JA 北海道厚生連帯広厚生病院 初期臨床研修医
2018年4月 札幌医科大学附属病院 初期臨床研修医
2019年4月 砂川市立病院 脳神経外科 診療医
2020年4月 JA 北海道厚生連帯広厚生病院 脳神経外科 診療医
2021年4月 札幌医科大学脳神経外科 大学院
2025年4月 市立釧路総合病院 脳神経外科 医長

この度はご参加いただき誠にありがとうございます。私自身も研修医のときに GREEN Project に参加し、多くに刺激を受けたことを覚えております。皆様にとって有意義な時間となりましたら幸いです。

第1部 発表者 プロフィール

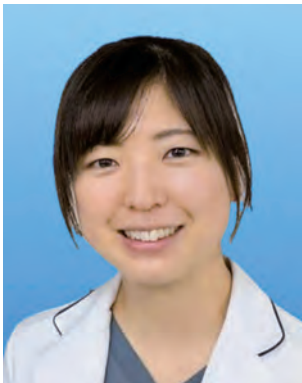


西野 豪

市立釧路総合病院 医長

2022年3月 札幌医科大学卒業
2022年4月 市立函館病院初期臨床研修医
2024年4月 札幌医科大学医学部脳神経外科学講座診療医
2025年4月 市立釧路総合病院脳神経外科

市立釧路総合病院脳神経外科所属の西野豪と申します。GREEN Projectで登壇の機会を頂き大変光栄に感じております。私は脳神経外科専攻医3年目であり、専攻医1年目の11月に産まれた2歳になる娘、精神科専攻医3年目の嫁の3人で、道東釧路の地域医療に貢献させて頂いています。お互いフルタイム勤務かつ近くに親族がいない中で、忙しくも充実した生活を送っており、とてもありがたく感じております。実体験を基に、日々の暮らし・医師としてのキャリア形成・そのために必要なものを中心にお話をさせていただきますので、進路について考えていらっしゃる皆様のご参考になればと存じます。



神 亜沙美

中村記念病院 医局員

2021年 秋田大学医学部卒業
2021年 横浜市立大学附属病院 初期研修
2022年 横須賀共済病院 初期研修
2023年 中村記念病院 脳神経外科 入局
2024年 中村記念南病院 脳神経外科
2025年 滝川脳神経外科病院 脳神経外科
現在 中村記念病院 脳神経外科

中村記念病院 脳神経外科 神亜沙美と申します。医師6年目で来年、専門医試験を控えています。大学以外の基幹施設である当院での研修についてお話しさせていただきます。また今回の講演を通して、少しでも脳神経外科医を志す人が増えてくれたら嬉しく思います。よろしくお願ひします。

第1部 発表者 プロフィール



前田 拓真

埼玉医科大学国際医療センター 講師

【略歴】

2015年 札幌医科大学医学部卒業

2017年 旭川赤十字病院初期臨床研修修了

2017年 埼玉医科大学国際医療センター 脳神経外科 入局・専攻医
(研修期間中、国立循環器病研究センター、虎の門病院、都立神経病院などの関連・連携施設をローテーション)

2021年 埼玉医科大学国際医療センター 脳神経外科 助教

2023年 Barrow Neurological Institute, Postdoctoral Fellow

2025年 埼玉医科大学国際医療センター 脳神経外科 講師

【資格】

日本脳神経外科学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医・指導医、日本脳神経血管内治療学会専門医、日本脳卒中の外科学会技術認定医、日本神経内視鏡学会技術認定医、日本神経外傷学会認定専門医、日本脳神経外科学会指導医、難病指定医、臨床研修指導医、博士(医学)

【賞罰】

日本脳神経外科学会奨励賞、日本脳神経外科学会

日本脳神経外科救急学会学術奨励賞、日本脳神経外科救急学会

CNS 国際飛躍賞、日本脳神経外科コンgres

Mordecai Y. T. Globus New Investigator Award in Stroke, American Heart Association|American Stroke Association 等

『ああ、脳神経外科医になって本当によかった!』医師 11 年目になりますが、私は今でも毎日ワクワクしながら、脳神経外科医としての喜びを噛み締めています。手術がうまくいき患者さんが笑顔で退院される喜び、研究で新しいデータが出た時の興奮。手術、カテーテル、内視鏡、放射線治療、研究、術前シミュレーションまで、脳神経外科の魅力は尽きません。私は生まれ変わっても脳神経外科医になります。講演では、そんな魅力を少しでもお伝えできればと思います。Join us!!

第1部 発表者 プロフィール



山本 一徹

湘南藤沢徳洲会病院 機能的神経疾患センター センター長

【略歴】

2022年8月 - 現在 湘南藤沢徳洲会病院 機能的神経疾患センター センター長
2020-2022 トロント大学トロントウェスタンホスピタル脳神経外科 定位・機能神経外科リサーチおよびクリニカルフェロー
2019-2020 東京女子医科大学脳神経外科 定位・機能神経外科クリニカルフェロー
2017-2019 湘南鎌倉総合病院 脳神経外科医長
2016-2017 湘南鎌倉総合病院 脳神経外科医員
2012-2016 湘南鎌倉総合病院 脳神経外科入職、後期研修
2010-2012 湘南鎌倉総合病院 初期研修
2010 札幌医科大学医学部卒

【学位】

博士（医学） 大阪医科大学
学士（医学） 札幌医科大学

【受賞歴・グラント】

2022 トロント大学脳神経外科ベストフェロー受賞
2021/2022 グラント（CCS/CIHR/BC Spark Grants (\$150,000）: Lozano, Andres. The Toronto Hospital (Western Division) - UHN. Safety and feasibility of focused ultrasound-enabled liquid biopsy in patients with brain tumours)
2020 第59回日本定位・機能神経外科学会座長推薦演題
2018 第33回日本脊髄外科学会座長推薦演題
2012 平成23年度湘南鎌倉総合病院ベストレジデント賞
2011 平成22年度湘南鎌倉総合病院ベストレジデント賞

【論文】

80編（2026年8月現在）

人生は、目標設定と努力の繰り返しです。そして、人との出逢いや衝撃的な経験を通して得られる深い感動が、新たな目標を生み出します。自分は何をしたいか？そのためには何をすべきか？熱意と明確な目的意識を持って軸をぶらさず目標に突き進みましょう！

第3部 発表者 プロフィール



鈴木 脩斗

横浜新都市脳神経外科病院 医師

【学歴】

2012年3月 日本医科大学 医学部医学科卒業
2015年4月 札幌医科大学大学院 医学研究科入学
2019年3月 札幌医科大学大学院 医学研究科卒業

【職歴】

2012年4月 市立札幌病院 初期研修
2014年4月 札幌医科大学 脳神経外科入局
2015年5月 京都大学医学部附属病院 脳神経外科
2016年1月 釧路孝仁会記念病院 脳神経外科
2016年4月 市立函館病院 脳神経外科
2017年4月 札幌医科大学 脳神経外科
2019年4月 釧路孝仁会記念病院 脳神経外科
2024年4月 横浜新都市脳神経外科病院 脳神経外科

【資格】

医学博士
日本脳神経外科学会 専門医・指導医
日本脳卒中学会 専門医
日本脳卒中の外科学会 技術認定医・技術指導医
日本脳神経血管内治療学会 専門医

横浜新都市脳神経外科病院の鈴木脩斗です。血管障害について紹介させていただきます。脳神経外科領域の中では最も common で、多くの脳外科医師が日々診療している分野です。急性期から慢性期、内科治療や外科治療と多岐にわたり、参加される先生方に少しでもその内容や魅力が伝われば幸いです。当日もたくさんの質問お待ちしております！



伊師 雪友

北海道大学 助教

2008年 北海道大学医学部卒業
2008年4月～ 北見赤十字病院初期研修医
2010年4月～ 北海道大学病院脳神経外科
2010年10月～ 函館中央病院脳神経外科
2011年10月～ 札幌麻生脳神経外科病院脳神経外科
2012年1月～ 北海道大学病院脳神経外科
2012年10月～ 手稲溪仁会病院脳神経外科
2013年4月～ 北海道大学病院脳神経外科
2014年8月～ 北海道医療センター脳神経外科
2015年4月～ 北海道大学病院脳神経外科
2015年8月～ 熊本大学発生医学研究所幹細胞部門幹細胞誘導分野
2016年11月～ 北海道大学病院脳神経外科
2017年10月～ 苫小牧市立病院脳神経外科
2018年7月～ 北海道大学病院脳神経外科
2021年3月～ ノースウエスタン大学小児科
2023年4月～ 札幌麻生脳神経外科病院脳神経外科
2023年10月～ 北海道大学病院脳神経外科

脳腫瘍の分野紹介を行わせていただきます。脳腫瘍はさまざまな手術法に習熟するという外科医としての要素のみならず、腫瘍学や分子生物学、内分泌学などといった腫瘍内科医としての要素も要求され、脳神経外科の中で最も「総合力」が必要とされる分野と考えています。習得すべきことは多岐に渡りますが、その分やりがいもあり、一人一人が世界に羽ばたける可能性のある分野です。一人でも多くの学生・研修医の皆さんが脳腫瘍に興味をもっていただければ幸いです。

第3部 発表者 プロフィール



上森 元気

旭川医科大学 助教

2008年3月 旭川医科大学医学部医学科 卒業
 同年4月 旭川医科大学病院初期研修医
 2010年4月 旭川医科大学脳神経外科 入局
 2012年10月 網走脳神経外科・リハビリテーション病院
 2014年 日本脳神経外科専門医 取得
 同年10月 旭川医科大学脳神経外科
 2015年10月 札幌禎心会病院脳神経外科
 2016年10月 北海道脳神経外科記念病院脳神経外科
 2018年10月 旭川医科大学脳神経外科
 2019年 日本脊椎外科学会認定医 取得
 2020年 脊椎脊椎外科専門医 取得
 2021年2月 森山病院脳神経外科
 2022年9月 旭川医科大学脳神経外科

私は幸せです。私の「宿命」と「運命」である脳神経外科、そして脊椎脊椎外科が素晴らしいものだからです。私は北海道の小さな街で生まれ育ち、高校3年生で医師を志し、多少足踏みをして医学部に入り、「運命」的な出会いをしました。好敵手（とも）や師匠（せんせい）、そして私自身の「宿命」と出会い、脳神経外科医になることを決めました。耐え難きを耐え、紆余曲折を経て、そして今、脊椎脊椎外科医を名乗り、生きています。皆さんはこれからどう生きますか？当日、皆さんとお話できることを楽しみにしています。



在原 正泰

北海道立子ども総合医療・療育センター 医長

2014年3月 札幌医科大学医学部医学科 卒業
 2014年4月 市立釧路総合病院 初期研修医
 2015年4月 札幌医科大学附属病院 初期研修医
 2016年4月 札幌医科大学附属病院
 2017年4月 京都大学医学部附属病院
 2017年10月 釧路孝仁記念病院
 2018年1月 北海道立子ども総合医療療育センター
 2018年4月 新さっぽろ脳神経外科病院
 2018年7月 王子総合病院
 2019年4月 札幌医科大学附属病院
 2021年4月 市立函館病院
 2021年10月 函館新都市病院
 2022年3月 札幌医科大学大学院医学研究科博士課程 卒業
 2022年4月 - 北海道立子ども総合医療療育センター

北海道の子ども病院で勤務5年目となりました、ありはらと申します。小児神経外科領域、特に北海道の子ども病院である当院での診療を紹介いたします。少しでも小児神経外科に興味を持っていただければ幸いです。

第3部 発表者 プロフィール



高砂 恵

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 審査専門員

岡山大学医学部医学科卒業

東京女子医科大学附属東医療センター（現足立医療センター）初期研修

東京大学脳神経外科入局

獨協医科大学病院脳神経外科

東京厚生年金病院（現 JCHO 新宿メディカルセンター）脳神経外科

公立昭和病院脳神経外科

東京大学医学部附属病院脳神経外科

国立国際医療研究センター病院脳神経外科

国立成育医療研究センター病院脳神経外科

2025年4月より現職（東京大学脳神経外科より出向）

決して楽な道ではないと分かっていて、脳神経外科に興味を持って頂けたことを嬉しく思います。脳神経外科は、症候学、手術手技、解剖、そのすべてが奥深く、美しい世界です。患者さんの生命や生活に直結するからこそ、やりがいも大きく、一生を懸ける価値があると思います。ぜひ一緒に、この魅力的な世界に挑戦しましょう！

第4部 モデレーター プロフィール



小杉 健三

慶應義塾大学 助教

2012年 慶應義塾大学医学部卒業
2012-14年 総合病院国保旭中央病院 臨床研修医
2014-15年 足利赤十字病院 脳神経外科
2015-16年 慶應義塾大学 専修医（医学部 脳神経外科学教室）
2016-17年 独立行政法人国立病院機構栃木医療センター 脳神経外科
2017-20年 慶應義塾大学 助教（医学部 脳神経外科学教室）
2020-22年 国立精神・神経医療研究センター病院 脳神経外科
2022-現在 慶應義塾大学 助教（医学部 脳神経外科学教室）

脳神経外科は、高度な手術技術と最新の脳科学研究が密接に交差する、非常に魅力と可能性に満ちた分野です。私自身、機能脳神経外科を中心に臨床や研究を行っていますが、患者さんの人生やQOLを劇的に変えられるこの仕事に大きなやりがいを感じています。当日のGREEN Projectでは、疑問や不安など何でも気軽に聞いていただき、皆さんの未来をイメージする一助になれば幸いです。



梅原 徹

大阪大学 特任助教

学歴

2011年 大阪大学医学部医学科 卒業
独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 初期研修医
2013年 同上 脳神経外科専修医
2015年 公益財団法人唐澤記念会 大阪脳神経外科病院 医員
2016年 大阪大学医学部附属病院 脳神経外科 医員
2018年 神戸大学医学部附属病院 脳神経外科 医員
2019年 大阪大学医学部附属病院 脳神経外科 医員
2020年 大阪大学大学院医学系研究科博士課程 修了
医療法人錦秀会阪和記念病院 脳神経外科 医長
2024年 大阪国際がんセンター 脳神経外科 医長
2025年 大阪大学医学部附属病院 脳神経外科 特任助教

脳神経外科は、繊細な手術手技、光学機器やAIをはじめとする最先端テクノロジー、画像診断、血管内治療、ニューロサイエンスなど、多くの分野が交わる奥深い領域です。臨床も研究も、新しい発見と挑戦の連続です。脳神経外科には、それぞれの興味や強みを生かせる多彩な道があります。皆さんと未来の脳神経外科を一緒につくっていただけることを楽しみにしています。

第4部 モデレーター プロフィール



牛田 裕子

大阪大学 大学院生

2019年3月 香川大学医学部卒業、
2019年4月～2020年3月 順天堂大学医学部附属浦安病院にて初期研修、
2021年4月 大阪大学脳神経外科入局、
2025年9月 脳神経外科専門医取得、
2025年10月より大阪大学脳神経外科にて大学院生として研鑽中

脳外科は楽な診療科ではありませんが、毎日楽しく働いています。偉大な先輩方がたくさんいる中で恐縮ですが、比較的年齢に近い世代として皆さんの近い将来をイメージできるお話ができればと思います。



熊井 萌

東北大学 大学院生

2019年3月 東北大学医学部医学科 卒業

▽初期臨床研修

2019年4月～2021年3月 一般財団法人 脳神経疾患研究所 附属 総合南東北病院

▽後期臨床研修

2021年4月～2021年7月	広南病院 脳神経外科
2021年8月～2021年9月	国立病院機構 仙台医療センター
2021年10月～2021年12月	宮城県立こども病院
2022年1月～2022年3月	東北大学病院 脳神経外科
2022年4月～2022年9月	八戸市立市民病院 脳神経外科
2022年10月～2023年6月	大崎市民病院
2023年7月～2024年3月	青森県立中央病院
2024年4月～2024年9月	さいたま赤十字病院

▽大学院

2024年10月～ 東北大学大学院医学系研究科 神経病態制御学分野 / 医工学研究科 神経再建医工学分野

私が脳神経外科に縁を持ったのは、学部3年次の研究室配属で脳外の医療機器系の研究室を選んだことが始まりです。脳切除デバイスの開発に携わる中で、手術への興味や対象疾患の幅広さ、何より先生方の真面目さと人間的な魅力に惹かれ、入局を決めました。学部6年次の2018年脳神経外科総会では第1回 Green Projectに参加し、大きな刺激を受けました。科の選択は人生の分岐点の一つですが、より広い視点を持ち、さまざまな縁を経験へと変えてもらえればと思います。

第4部 モデレーター プロフィール

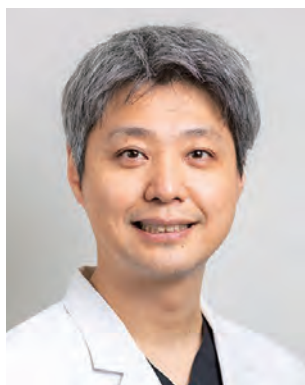


大久保 升誉

新潟大学 助教

2018年3月 新潟大学医学部卒業
2018年4月 新潟県立新発田病院初期研修医
2020年4月 新潟大学脳研究所脳神経外科学分野
2021年4月 長野赤十字病院脳神経外科
2022年4月 山形県立中央病院脳神経外科
2024年4月 新潟大学脳研究所脳神経外科医院
2025年4月 長岡赤十字病院脳神経外科 副部長
2026年4月 新潟大学脳研究所脳神経外科 専任助教

脳外科は大変そう、難しそう、忙しそう。たぶん全部その通りです。でも、それ以上に面白くて、やりがいのある世界です。手術が好き、脳に興味がある、なんとなくカッコいい——入口は何でもOK。少しでも気になったら、ぜひ一度飛び込んでみてください。一緒に脳外科に挑戦する仲間が増えたら嬉しいです！



松原 博文

岐阜大学 講師

2010-2012 岐阜市民病院研修医
2012-2013 岐阜大学医学部附属病院 脳神経外科 医員
2013-2014 高山赤十字病院 脳神経外科、土岐市立総合病院脳神経外科
2014-2015 岐阜大学医学部附属病院 脳神経外科 医員
2015-2016 岐阜県総合医療センター 脳神経外科、岐阜市民病院 脳神経外科
2016-2018 国立循環器病研究センター 脳神経外科 レジデント
2018-2019 総合大雄会病院 脳神経外科 医長
2019-2022 岐阜大学医学部附属病院 脳神経外科 医員
2022- 岐阜大学医学部附属病院 脳神経外科 助教
2025- 岐阜大学医学部附属病院 脳神経外科 講師

研修医の頃から脳神経外科学会総会に参加される先生方はみんな大成される方ばかりだと思います。是非一緒に脳神経外科医として働き、日本の脳神経外科を盛り上げていきましょう！

第4部 モデレーター プロフィール

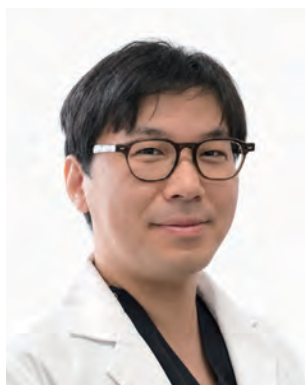


大谷 理浩

岡山大学 研究准教授

2009年 岡山大学医学部医学科卒業
2009年 岡山市立市民病院 初期研修医
2011年 岡山大学病院 脳神経外科 後期研修医
2012年 岡山市立市民病院 後期研修医
2014年 岡山大学医歯薬学総合研究科 脳神経外科 大学院
2017年 米国 University of Texas Health Science Center at Houston, Department of Neurosurgery, 博士研究員
2020年 岡山大学病院 脳神経外科

良性および悪性脳腫瘍の臨床および研究に従事しています。とくに研究では医学部生や若手の先生にも参加していただき、研究の面白さや、自分の手で新しい発見をする喜びを感じてもらえるよう活動しています。臨床と研究の両立、留学を含めたキャリアパスなどについて、皆様とお話しできることを楽しみにしています！



吉武 秀展

久留米大学 助教

2013年3月	久留米大学医学部医学科卒業
2013年04月～2015年03月	久留米大学病院 臨床研修センター 研修医
2015年04月～2015年09月	久留米大学病院高度救命救急センター 脳神経外科 助教 脳神経外科
2015年10月～2016年03月	社会保険田川病院
2016年04月～2017年03月	済生会八幡総合病院
2017年04月～2017年09月	高邦会高木病院
2017年10月～2018年03月	久留米大学病院 脳神経外科
2018年04月～2018年09月	雪の聖母会聖マリア病院
2018年10月～2019年09月	久留米大学病院 脳神経外科
2019年10月～2021年03月	雪の聖母会聖マリア病院
2021年04月～2022年03月	公立八女総合病院
2022年04月～2023年03月	久留米大学病院高度救命救急センター
2023年04月～現在に至る	久留米大学病院 脳神経外科 助教 脳神経外科

2021年4月より	久留米大学医学部大学院 高次脳機能研究科 所属
2019年	脳神経外科専門医 取得
2022年	JBCT 癌治療認定医 取得

脳神経外科は手術を通じて患者さんの命と、その後の人生を左右する神経機能の両方を預かる診療科です。責任は重いですが、意識障害や麻痺のあった患者さんが回復し笑顔で退院される瞬間の達成感は何物にも代えがたいものです。脳腫瘍の領域では、近年、分子診断がめざましく発展し、遺伝子情報に基づいて腫瘍を分類し治療する時代が到来しました。一方で、膠芽腫など主な悪性脳腫瘍の治療成績は、他の癌腫のようなブレイクスルーにまだ至っていません。だからこそ挑戦する価値があります。次の突破口を開くのは、皆さんかもしれません。

第4部 モデレーター プロフィール



小松 克也

札幌医科大学 助教

【学歴】

2004年3月 札幌医科大学医学部医学科卒業

2010年3月 札幌医科大学大学院修了（医学博士）

【職歴】

2006年3月 初期臨床研修修了

2014年1月 札幌医科大学脳神経外科 助教

2017年4月 京都大学脳神経外科 助教

2018年12月 札幌医科大学脳神経外科 助教（現在に至る）

【資格】

日本脳神経外科学会専門医、指導医

日本脳卒中の外科学会技術認定医

日本脳神経血管内治療学会専門医

日本脳卒中学会専門医、指導医

日本脳神経内視鏡学会技術認定医

新しい出会い、新しい気づき、そして次の Vision へ。GREEN Project で皆さんとお会いできることを楽しみにしています！



山岡 歩

札幌医科大学 助教

2012年 札幌医科大学医学部卒業

2012年 札幌医科大学附属病院 卒後臨床研修標準プログラム

2014年 札幌医科大学救急医学講座および関連施設で研修

2018年 札幌医科大学脳神経外科学講座および関連施設で研修

日本救急医学会救急科専門医 所得

2021年 帯広厚生病院脳神経外科 医長

CNTT2021 顕微鏡下手術 端側吻合手技コンテスト 準優勝

日本脳神経外科学会専門医 所得

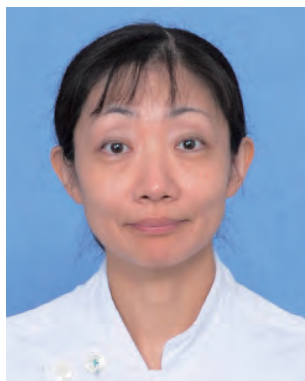
2022年 市立函館病院脳神経外科 医長

日本集中治療医学会集中治療専門医 所得

2023年 札幌医科大学脳神経外科学講座 助教

ダブルボードやトリプルボードを目指す学生・研修医の皆様には、アドバイスできることがあるかもしれません。気軽にお声がけください。

第4部 モデレーター プロフィール



菅野 彩

札幌医科大学 助教

学歴（大学入学以降より）：

3/2008 札幌医科大学医学部医学科 卒業

3/2018 札幌医科大学大学院医学研究科 卒業

職歴：

04/2008-03/2010 沖縄県 社会医療法人友愛会豊見城中央病院（初期臨床研修）

04/2010-03/2011 北海道 札幌医科大学脳神経外科

04/2011-03/2012 北海道 市立釧路総合病院脳神経外科

04/2012-03/2013 北海道 社会医療法人孝仁会記念病院脳神経外科

04/2013-03/2014 北海道 市立札幌病院脳神経外科

04/2014-03/2018 北海道 札幌医科大学脳神経外科

04/2018-03/2021 北海道 市立釧路総合病院脳神経外科

04/2021-09/2022 北海道 札幌医科大学脳神経外科

10/2022-09/2024 Children's Hospital of Michigan, Wayne State University (Research fellow)

10/2024- 北海道 札幌医科大学脳神経外科

資格：

日本脳神経外科学会専門医・指導医

日本脳卒中学会専門医・指導医

日本てんかん学会専門医・指導医

日本定位機能神経外科学会機能的定位脳手術技術認定医

今年の GREEN Project は初の Hands-on に加え、男女共に仕事とライフイベントとの両立を「自分事」として考えられる講演を企画しました。経験年数、性別、専門領域、勤務地も様々な全国の先生方が集まり、指定グループトークだけでなく参加者が直接希望の先生と話せる時間も設けています。脳神経外科に進もうか迷っている皆さん、大歓迎です！本企画への参加を通じて、2 年目研修や後期研修、さらにその先の進路・過ごし方を考える一助となれば幸いです。

